

【事務事業調査】

事務事業名	講座開催費	予算科目 コード	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業		
			001-10-04-05-003-01-03-0		
担当部課	教育部生涯学習課	担当 サブリーダー	図書館担当 阿久津 律子	事業の分類	既存事業

事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	年齢層や内容を幅広く設定した講座・教室を開催する。 (1日司書、図書館ボランティア養成講座、読書感想文講座、読み聞かせ講座、手作り絵本講座等)	講座を通して、さまざまな世代の方々に図書館や本に親しむ機会を提供できる。 ・ボランティアが育つことにより、地域や学校における読書活動の推進が図られる。
実績	計画どおり ・赤ちゃんからお年寄りまで幅広く参加できる講座・教室を開催した。 ・開催した講座・教室は、1日司書(夏休み子供向け)4回、大人向け1日司書1回、図書館ボランティア養成講座3回、読書感想文講座(夏休み)2回、お父さんのための読み聞かせ講座1回、手作り絵本講座(親子)3回、クリスマス人形劇1回、親子でお菓子作り1回、読書会3回、赤ちゃんのためのおはなし会1回 ・多くの方の参加を促す為に実施時期、広報の方法を検討し、また、限られた予算を有効に活用するため、ボランティア、児童館、町内の小・中学校の先生等に協力を得た。	・赤ちゃんからお年寄りまで、また親子を対象とした講座・教室が開催できたので、さまざまな世代の方々に図書館や本に親しむ機会が増え、親子のふれあいの機会も提供できた。 ・ボランティアの育成により、図書館のおはなし会が充実し、小、中学校では、ボランティアにより定期的に読み聞かせ、ブックトークが開催されている。

活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
講座年間開催回数 (2回/月×12か月)	24回	20回	目標値より実際に開催した回数は4回少ないが、謝金を支払って開催した講座に参加した一人当たりの経費を比較すると、H19年度は568円であったが、H20年度は476円で、92円減になり、内容を厳選し、広報等も充分に行ったので、参加者が募集人数より多く、実のある講座が開催できた。

事業費(計画)

細 節	金 額
1 報償費	100,000
2 消耗品費	23,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	123,000

事業費(当初予算)

細 節	金 額
1 報償費	100,000
2 消耗品費	23,000
3	
4	
5	
6	
7	
8	
	123,000

事業費(実績)

細 節	金 額	特記事項
1 報償費	120,000	謝金の支払いを必要とする講座の開催回数増加の為、図書館運営事務費から20,000円流用
2 消耗品費	12,310	
3		
4		
5		
6		
7		
8		
	132,310	

事業経費

		計 画	実 績	特記事項
予 算	当初予算額		123,000	
	補正予算額		0	
	流用額		20,000	図書館運営事務費の需用費より流用
	予算現額		143,000	
決 算	決算額		132,310	
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0	0	
	差引(一般財源)	123,000	132,310	